

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年7月6日(2006.7.6)

【公表番号】特表2005-528894(P2005-528894A)

【公表日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2005-038

【出願番号】特願2003-584089(P2003-584089)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

G 0 1 N 33/15 (2006.01)

G 0 1 N 33/50 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 25/04

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 C

C 1 2 Q 1/02

G 0 1 N 33/15 Z

G 0 1 N 33/50 Z

C 1 2 N 5/00 B

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月4日(2006.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

S P 9 1 5 5 レセプターのアゴニストまたはアンタゴニストを同定する方法であって：

(a) 標識した既知量の S P 9 1 5 5 レセプターリガンドの存在下で、該アゴニストまたはアンタゴニストの存在について試験するサンプルと、S P 9 1 5 5 レセプターまたはその機能的フラグメントとを接触する工程；および

(b) 該レセプターに特異的に結合した該リガンドの量を測定する工程、を包含し、該サンプルは、該レセプターへの該標識リガンドの結合の、該サンプルの非存在下で測定される結合と比較しての実質的な減少を測定することによりアンタゴニストまたはアゴニストを含むことが同定される、方法。

【請求項 2】

前記標識リガンドが、配列番号 4 ~ 1 1 および 1 3 ~ 1 8 から選択されるアミノ酸配列を含むカルボキシ末端アミド化ポリペプチドである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記レセプターが、配列番号 2 または配列番号 2 0 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記レセプターの供給源が、該レセプターを含む哺乳動物細胞から単離された膜を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

S P 9 1 5 5 レセプターのアゴニストまたはアンタゴニストを同定する方法であって：

(a) 既知量の S P 9 1 5 5 レセプターリガンドの存在下で、該アゴニストまたはアンタゴニストの存在について試験するサンプルと、S P 9 1 5 5 レセプターまたはその機能的フラグメントを発現する細胞とを接触する工程；および

(b) 該細胞によるカルシウム移動を測定する工程、を包含し、該サンプルは、該サンプルの非存在下で測定される移動と比較しての実質的なカルシウム移動の減少を測定することによりアンタゴニストを含むことが同定され、そして該サンプルの非存在下で測定される移動と比較しての実質的なカルシウム移動の増加を測定することによりアゴニストを含むことが同定される、方法。

【請求項 6】

前記標識リガンドが、配列番号 4 ~ 1 1 および 1 3 ~ 1 8 から選択されるアミノ酸配列を含むカルボキシ末端アミド化ポリペプチドである、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記レセプターが、配列番号 2 または配列番号 2 0 のアミノ酸配列を含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

前記カルシウム移動が、カルシウムとカルシウム指示薬を接触させ、次いで、該指示薬の蛍光を測定することにより測定される、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

前記カルシウム指示薬が、1 - [2 - アミノ - 5 - (2 , 7 - ジクロロ - 6 - ヒドロキシ - 3 - オキシ - 9 - キサンテニル) フェノキシ] - 2 - (2 ' - アミノ - 5 ' - メチルフェノキシ) エタン - N , N , N ' , N ' - 四酢酸、ペンタアセトキシメチルエステルである、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

ポリペプチドを生成する方法であって、配列番号 4 または配列番号 1 3 由来の 7 以上の連続するアミノ酸を含む抗原性ポリペプチドをコードする核酸を含む組み換えベクターを含む宿主細胞を、該核酸が発現される条件下で培養する工程を包含する、方法。

【請求項 11】

前記ポリペプチドが、前記培養物から単離される、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

配列番号 4 および配列番号 1 3 から選択されるアミノ酸の 7 以上の連続する残基を含む抗原性ペプチドと、該ペプチドに特異的に結合する抗体分子との間の複合体を形成する方法であって、該ペプチドと該抗体分子を接触させる工程を包含する、方法。

【請求項 13】

被験体におけるSP9155レセプターにより媒介される医学的状態を処置または予防するための組成物であって、配列番号4または配列番号13由来の7以上の連続するアミノ酸を含むポリペプチドに特異的に結合する抗体またはその抗原結合フラグメント、および薬学的に受容可能なキャリアを含む、方法。

【請求項 14】

前記医学的状態が、疼痛および肥満から選択される、請求項13に記載の組成物。

【請求項 15】

配列番号4および配列番号13から選択されるアミノ酸配列のうちの7以上の連続する残基を含む、単離された抗原性ポリペプチド。

【請求項 16】

配列番号4～11および13～18から選択されるアミノ酸配列を含む、単離されたポリペプチド。

【請求項 17】

カルボキシ末端がアミド化された、請求項15に記載の単離された抗原性ポリペプチド。

【請求項 18】

請求項15に記載のポリペプチドに特異的に結合する抗体またはその機能的フラグメント。

【請求項 19】

請求項15に記載のポリペプチドをコードする単離された核酸。

【請求項 20】

配列番号4～11および13～18から選択されるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする、請求項19に記載の核酸。

【請求項 21】

配列番号3および12から選択されるヌクレオチド配列を含む、請求項20に記載の核酸。

【請求項 22】

請求項19に記載の核酸を含む、組み換えベクター。

【請求項 23】

請求項22に記載のベクターを含む、宿主細胞。

【請求項 24】

請求項15に記載のポリペプチドおよび薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

【請求項 25】

請求項18に記載の抗体分子および薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。